

2016 くすのき

VOL.27

樟 樹

樟樹会 別府洪西高等学校同窓会

校内こんなところ(こと)ご存知ですか?

● 第14回 ●



待ちに待った 新校舎

本館の新築工事も約1年で終了し、
3月に引っ越しました。



食物室 ▲

音楽室 ▼



教室の床には愛媛県産の
木材が使用され、各ホー
ムルーム教室の後部には
ロッカーが備え付けられ
ています。

創立100周年期成会発足

会長あいさつ



樟樹会会長
畑田 雅敏
(昭和44年卒)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。誌面ではございますが平素の疎遠をお詫びし、厚く御礼申し上げます。

本年も卒業して50年目の先輩方を西高卒業証書授与式にご招待させていただきました。本年は昭和41年3月ご卒業の30名の先輩方が出席されました。その後、体育館で記念撮影を行いました。近頃の会場で同期会をされたようです。先輩方からは、良い企画を実施していただいた。我々世代のほとんどが受験日程の関係で卒業式には出席できなかった。懐かしい母校に来ることが出来た。と、口々におっしゃっていました。来年は昭和42年ご卒業の先輩方をご招待いたします。多くの先輩方に母校の卒業式に参加していただければと存じます。

さて、昨年11月29日に新居浜西高創立100周年記念事業準備三者会（同窓会・PTA・教職員）が開かれ、翌月28日の2回目には組織や事業計画、資金計画、募金目標額等の骨子が了

承されました。そして、本年1月31日には期成会発足式が行われ、期成会組織（同窓会長が期成会々長に就任）、記念事業・記念行事の決定のほか、詳細について取り決めております。現在は、県教育委員会に承認申請手続きを行っているところでございます。

100周年事業のスケジュールを申し上げますと、本年9月より翌年8月まで募金活動。29年度には記念招待試合、記念文化祭、記念運動会等の記念事業を実施し、11月には記念すべき創立100周年記念式典を行います。その後、100周年記念式典も掲載した100周年記念誌を発刊いたします。

西高創立100周年は卒業生全員でお祝いしたいと存じます。どの高校も歩む100周年です。西高らしい100周年を迎えられるよう同窓会が中心となり、卒業生、在校生、PTA、教職員、全てのメンバーで思いを込めて取組み、心に残る100周年を成し遂げようではありませんか。

同窓会活動状況は、会誌「樟樹」または西高同窓会ホームページ、Facebookでその都度お知らせいたしております。その都度ご確認いただき、なんなりとご意見賜ればと思っております。

同窓生の皆さんには今後とも趣旨をご理解いただきまして、これまで以上のご協力、ご支援を伏してお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

50年目の卒業式

昭和41年3月卒業

藤縄 洲二

この度、新居浜西高等学校卒業50年目の卒業式に招待して頂きました。今年で3年目ということですが、私たち昭和41年卒は総数450人という大所帯でありまして、100人以上の参加者がいたら会場一杯になって大変だなあ、なんて心配しながら招待状を送りました。しかし結果は出席者30名、なんでやねん折角の貴重な体験なのに…。

何故なのか少し検証してみました。私たちの学年には卒業アルバムがありません。アンケートを取って必要なしとなり全員が写った集合写真のみが残っています。生徒会の働きかけか1年の時にスック靴から皮靴も可となり、3年の時は坊主刈から長髪が可となった時代でした。本館は2世代前の木造校舎で、寄付のみで泳げなかったプールは、もうその姿は消えています。世の中は学園闘争真つ盛りの頃で、体制に媚びないことが粹でかっこいいと感じていた世代、その気性は50年を経た今日までぶれることなく続いていたみたいで、きっと何をいまだら卒業式もないでしょうと粹がついているのでしょう。

厳粛で清々しい卒業式と、規律正しい卒業生を拜見し我々の頃とは隔世の感があると思いつつ、50年目にしようとなつと本当に卒業出来たようなそんな気がして目頭が熱くなつていました。参加できなかった友、参加しなかった友、良い体験を逃して残念でしたね。

最後にこのような企画をして頂いた学校、同窓会に深く感謝を申し上げます。



生

にわたり活躍されている
するコーナーです

介

Profile

昭和51年 新居浜西高等学校普通科 卒業
昭和56年 京都大学 工学部 卒業
昭和56年 日本電装株式会社入社
(平成8年 株式会社デンソーに社名変更)
平成27年 株式会社デンソー 取締役社長 就任
現在に至る



有馬 浩二

ありま こうじ

私が最近 感じることに

新居浜を離れて40年が過ぎます。私は四国にあまり馴染みのない「自動車部品製造会社」に勤務しており、現在は愛知に在住しております。

忘れもしない2年前、4年に一度の同窓会をお盆に新居浜でやるから顔出せよと、突然の嬉しいお誘いメールが届きました。卒業後、全くの不義理の私ですので、やや躊躇する気持ちもありましたが、懐かしさを味わいたいという強い思いが募り、いそいそと新居浜の会場へと足を運び参加させていただきました。タイムマシンに乗ったような感覚で、あの高校時代に戻ったと実感し、とても素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。

そういう私が最近感じることを少しお話しします。

最初の海外出向から

30代前半、アメリカのテネシーへ6年半。更地に工場を建て生産設備を入れて稼働させるという、まさにゼロからの出発。

失敗も山ほどありましたが、何とか立ち上げに漕ぎ着け、安定稼働するに至りました。今から考えると、よく任せてもらったなあと思います。最近思うのは、若い人の力・エネルギーは、時代に関係なく凄いのだと思えます。しかしながら、我々世代のおっさん達は、若い人が生き活きと働け

るような環境創りなどについて、少なくとも持ち場持ち場で、真剣に考えているのでしょうか？ 私自身は、「任せる勇氣、育てる愛情、見守るゆとり」の姿勢の大切さを痛感しております。

2度目の海外出向から

2度目は、46歳から5年間、イタリアでした。買収した会社で当時大きな赤字が続いており、再建か閉鎖かという瀬戸際の状況にあり、私の役目は再建することでした。

まさに、マイナスからのスタート。さすがに鳥肌立つ震える想いがありました。買収した会社ゆえの古い経営体質があり、生き残っていくには、その体質改革が必須でした。

皆の力を結集し何とか黒字化を果たせましたが、大きなドラマが数多くありました。この出向経験から得たものは、「人を信用し尽くす」ということでした。相互信頼が、心の原点であり、いかに重要であるか。人の心の変化が、会社を変える力になるということを実感しました。

軟式テニスから

もう一つは、大好きな軟式テニスから学んだことです。中学・高校・大学と10年間は夢中でした。ある尊敬する先輩から「人生は、ロブが必要」と結婚時にメッセージとしていただきました。ロブというのはテニス用語で、激しい打ち合いでなく、高く緩い弧を描くような打球のことで、優しく繋ぎ体制を整えるときに使う技法です。要するに、長い人生において、無理のない自然体の重要さに気づくときがあるよ、ということでした。確かに今となっては実感します。加えて、「自分次第で試合日は変わる」

というテニスから学んだことが、人生の歩み方に影響していることを、あらためて感じます。

さて最後に、皆さんの愛する太鼓台に関して一言。

多くの人が心一つになって担ぐ太鼓台。「ソーリヤー」という何とも威勢の良い気合が入る掛け声、大きく激しく美しく揺れる房、腹の奥底まで響く和太鼓のドンデンドンという心地よい音。たまりませんなあゝ！ 海外出向時代など精神的に苦しい状況の時、目をつぶり、ふと脳裏に浮かんだのが新居浜の大鼓台でした。この光景は、新居浜を遠く離れていても思い出され、その躍動感に胸を躍らせ、勇気づけられ、にやにやと自然に笑みがこぼれ、一人ご満悦状態に陥るのです。

そして、誰かが私に向かって「なんしょんぞ〜」と大きな声で叫んでくれているのです。

心の故郷、新居浜、太鼓台!!!

編集委員会より 会社概要

株式会社デンソー (東証一部【6902】上場)
設立 1949年12月16日
本社所在地 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1
資本金 1,874億円
売上収益 連結4兆5,245億円(2015.4.1~2016.3.31)
従業員 連結151,775名 単独38,490名
連結子会社 188社
(日本62、北米28、欧州34、アジア58、南米/その他6)

株式会社デンソーは、世界最大手の自動車部品メーカー。連結売上の約9% (2016年度:約3,993億円)を研究開発費に投じ、「環境」「安心・安全」に重点を置いた技術開発を行っているそうです。また、自動車向けで培った技術を生かし、産業用ロボットや新事業(バイオ燃料、農業支援など)にも積極的に取り組み、事業活動を通じて新しい価値の創造を目指しています。

同窓

文化面、産業界など各界
同窓生をご紹介

紹介

南極への道程

「東京?!」。晩酌中の父が渋い顔をした。

「せめて大阪くらいにないん?」と母が追いかけるように言葉を足した。昭和57年当時、少なくとも我が家にとっては、東京はハイソで、危険がいっぱいで、冷たいイメージの街だった。親戚どころか何かあつたときに頼る知り合いもない、そんな街の大学を志望することになるとは自分自身も想定外だった。理由はシンプルで「受けられる大学、そこしかないよ」だった。私が西高で履修した科目で受験可能な水産系の国立大学は東京水産大学と下関水産大学の2校のみ、出せる受験費用は1校分という親との約束である。お酒が入って気が大きくなっていった父は「自分で決めたんだつたら好きにせんかい」と言ってくれたものの、家計を預かる母は東京の物価を心配していたのを覚えている。文系から理系の大学を受験するという冒険を後押ししてくれたのは担任の保子先生と、同じ保健体育で私が所属したバスケット部の顧問だった岡野先生、2年のときの担任だった理科の安永先生だった。3人のうちの誰だったか、東京水産大学には大きな練習船があつて南極観測隊に随行して南極海まで行っていることを教えてくれたが、その10年後に私が南極大陸に立つことなど先生は想像していなかったと思う。

東京海洋大学に名称を変えた今では女子学生が約4割を占めるものの、私がいたころは「なんで女がいるの?」と疑問視されるほど男子大学の様相を呈していた。食品



昭和基地管理棟前にて (中央が著者)

学科には1割程度の女子学生がいたが、私が選んだのは漁業生産工学という航海士を養成する学科だった。航海士は男性職業の時代である。授業は数学と物理が

中心で内容は数Ⅲと物理Ⅱのレベルだったが、クラスメイトの助けを借りつつ何とかついて行つた。3年生のときは船で日本一周、4年生ではバシー海峡とマラッカ海峡を経てインド洋まで、学部卒業後は専攻科に進学してオーストラリアに航海した。周り360度を水平線に囲まれて見上げた満天の星空と船の真下に眺めたグレートバリアリーフの巨大な珊瑚群は私の記憶の中の宝石になっている。

航海士免許を取得したものの、就職活動で訪ねた水産会社はもちろん、官公庁の船も女性航海士は門前払いされた。ならば時間稼ぎのためにと大学院に進んだが、大学院での研究活動は航海士になるための猶予など与えてくれるはずがないことは大学教員になった今はよくわかる。通学電車の中では実験計画を練り、わからない単語を飛ばし飛ばししながら英語の文献を読んだ。夜中まで実験が続いて手際の悪さを反省し、1日で数行しか進まない論文執筆力に情けなくなつた。南極に行くチャンスを与えてくれたのは研究室に着任したばかりの



基地に來訪したペンギンとともに

越冬隊経験がある助手の先生だった。実家が漁師だった私は子供の時から早起きで、やはり朝が早いその先生とよくコーヒーを飲みながら雑談をさせてもらっていた。観測隊参加の話をもたらしたのは博士學位審査を終えたものの就職先も決まっていないう3月下旬のことだった。電話で両親に告げたとき、「南極?!」と、東京よりもはるか未知の地へ行くことに10年前よりも驚いたのは無理もない。

現在は三重大学で理系学部の教員をしている。航海士にはなれなかったが船に乗ることも多く、寄稿の依頼をもらったのも種子島沖でアオリイカの研究航海中だった。大学進学で理系に変針できたのは西高で文系クラスでも理科・数学の基礎力をしっかりと付けてもらったおかげだと感謝している。南極への道程も西高時代に示してもらっていたのかも知れないとふと思う。

Profile



宮崎 多恵子

みやざき たえこ

- 昭和58年 新居浜西高等学校普通科卒業
- 昭和62年 東京水産大学漁業生産工学科卒業
- 昭和63年 東京水産大学水産専攻科修了
- 平成5年 東京水産大学博士後期課程修了 (博士(水産学)取得)
- 平成5年 東京水産大学助手 (第35次南極地域観測隊員として)
- 平成7年 東京大学海洋研究所COE研究員
- 平成9年 科学技術庁放射線医学総合研究所 研究員
- 平成12年 同 主任研究員
- 平成14年 三重大学生物資源学部 助手
- 平成15年 同 講師
- 平成15年 同 准教授 現在に至る

の 歩 み

テニス部で過ごした日々

テニス部主将 近田 裕基



私たちテニス部は、男女で一つの部活動を構成しているという事情もあり、本校運動部の中で最も人数の多い部活動です。男女合同の部活動ということ

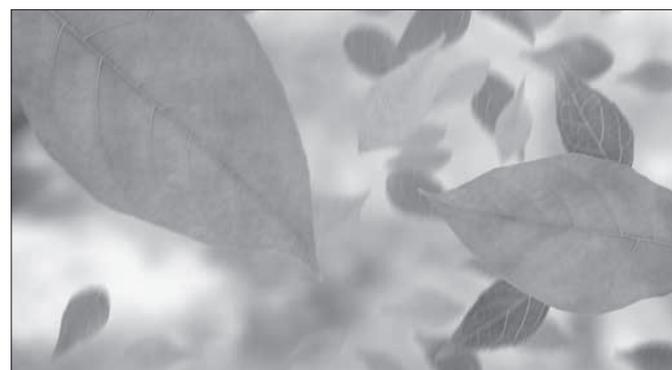
で、他の部活動とは違い、独特の雰囲気がある部活動であると感じています。その独特な雰囲気とは、決して悪いものではなく、私にとって本当に居心地の良い、練習に集中できるものであると感じています。それもこれも、部員全員が個性豊かであることが大きな要因であるようです。

テニス部はまだまだ歴史の浅い部活動ではありますが、その中で先輩方から多くのことを学ぶことができたように感じています。多くの中学校にはソフトテニス部はありませんが、テニス部はほとんどないようです。だから、高校でテニス部に入る人は、多くの人々が初心者での入部となります。テニスというスポーツは非常に難しいスポーツの一つであると感じており、ラケットの握り方一つにしても、初心者が一人で考えてできるようなものとは決してありません。また、「紳士・淑女のスポーツ」と言われるように、プレー以外にも細かなマナーが存在します。そのようなテニスではありますが、テニス部では、技術的なことやルール、マナーは先輩が後輩に伝えていくことで、誰もがテニスを自分のものにしてきました。そのような自立した集団であることこそが、テニス部の強みであると感じています。自ら考え、自ら練習し、そして、自ら改善していく。このことによつて部員一人一人の意識が高揚し、お互いのプレーに対して「今のはよかった」「今のはこうするべきだった」とアドバ

イスをしながら練習や試合に取り組む環境が出来上がってきたように感じています。誰もがプレーヤーであり、誰もがコーチである状況こそが、一人一人の主体性を高め、私自身も主将として、部の成長を目的の当たりにすることができました。

テニス部はまだまだ歴史の浅い部活動ではありますが、その中で先輩方から多くのことを学ぶことができたように感じています。多くの中学校にはソフトテニス部はありませんが、テニス部はほとんどないようです。だから、高校でテニス部に入る人は、多くの人々が初心者での入部となります。テニスというスポーツは非常に難しいスポーツの一つであると感じており、ラケットの握り方一つにしても、初心者が一人で考えてできるようなものとは決してありません。また、「紳士・

淑女のスポーツ」と言われるように、プレー以外にも細かなマナーが存在します。そのようなテニスではありますが、テニス部では、技術的なことやルール、マナーは先輩が後輩に伝えていくことで、誰もがテニスを自分のものにしてきました。そのような自立した集団であることこそが、テニス部の強みであると感じています。自ら考え、自ら練習し、そして、自ら改善していく。このことによつて部員一人一人の意識が高揚し、お互いのプレーに対して「今のはよかった」「今のはこうするべきだった」とアドバ



部活動

化学の「力」

化学部部长 明石 久輝



僕は、この文章の下書きをパソコンを使って書きましたが、「かがくぶ」を漢字変換すると真っ先に「科学部」と変換されます。少し気になって調べてみると、愛媛県内には約60もの県立高校がありますが、そのうち、科学部などの理科系の部活動がある高校は24校。中でも「化学部」は8校しかありません。なかなかレアな部活だと思います。

ここで化学部の魅力についていくつか紹介します。まず1つ目は先輩が後輩に実験などを教えるという伝統が代々続いているということです。僕たちがわからないことがあるといつも先輩方は優しく教えてくれました。2年生や今年度新たに入学してくれた1年生にもこの伝統を少しでも伝えていけたらと思っています。

立の科学技術振興機構が主催する実験プロジェクトに参加しました。このプロジェクトでは、自分たちで設定した研究テーマに関する研究を行い、口頭発表やポスターセッションによってその研究



広辞苑で「科学」と「化学」という言葉を調べてみると、「科学」とは観察や実験によって実証された法則的・体系的知識で、物理・化学などの自然科学だけではなく経済などの社会科学や言語学などの人間科学も広く含みます。一方「化学」とは、諸物質の構造・性質並びにこれら物質相互間の反応を研究する学問のことです。

2つ目は、地域のイベントへの参加を通していろいろな方と交流できることです。例年、5月のゴールデンウィークには銅夢にはま、夏休み中には西高のすぐ近くにある登り道サンロードという商店街、そして1月には科学博物館で行われるイベントに参加しています。主に小さな子どもたち向けのイベントで、スライム作りや空気砲、簡単な化学実験などを通してたくさんの方々と交流することができました。上手くコミュニケーションがとれなかったり、実験が失敗したりして苦労することもありますが、化学の力で笑顔になってくれる子供たちを見ることができ、とてもうれしかったです。

結果の発表を行いました。まず8月に3回ほど愛媛大学に行き、講義を受け、研究テーマの設定の仕方や研究のプロセス、研究結果の考察の仕方について化学の教科書にも載っている実験を実際にを行いながら学びました。その後、部員同士意見を出し合いながら研究のテーマを設定し、9月から1月にかけて研究を行いました。運動会や修学旅行などの行事が重なり、11月半ばまでは研究に必要なまとまった時間や人員が確保できず、苦労しましたが、徐々に実験操作にも慣れてきてスピーディに研究できるようになってきました。愛媛大学や総合教育センターの先生方にもたくさんアドバイスをいただきましたながら、何とか研究成果を発表できる形に仕上げることができ、その成果が認められて奨励賞をいただきました。

最後に、顧問の先生方をはじめ多くの先生方のご指導・ご協力により、日々の活動を自由に、充実して行うことができました。本当にありがとうございます。そして何より、3年間の部活動を通して、先輩・後輩や同級生の部員との何物にも代えがたい絆を得ることができました。これもまた、化学の力によって結ばれたものだと思います。

化学は僕たちの生活の中で実は大いに役立っています。たとえば、ペットボトル。これは芳香族2価カルボン酸であるテレフタル酸と2価アルコールのエチレングリコールを縮合重合（縮合反応により分子を大量につなげる）させたポリエチレンテレフタレート（PET）を原料に作られています。化学の力のひとつは、このように簡単な物質から新しいものを自由自在に作れるところにあると思います。僕はこのような化学の力に魅せられて、化学部に入学しました。

3つ目は高校生の間から本格的な研究活動に少し触れることができることです。昨年の8月から今年の1月にかけて、えひめサイエンスリーダースキルアッププログラムという愛媛大学と国

僕は、これらの活動を通して、創造力をフルに活用して研究テ

1・2年生には、僕たち3年生が引退した後も化学部の良き伝統を引き継ぎ、新たなことに挑戦し続けて欲しいと思います。

母校の概況

Nihama-Nishi High School

来年度、100周年を迎える西高



校長 佐々木 靖夫

樟樹会の皆様方からは、母校に対して変わらぬ御支援・御指示をいただいていることに対して、まずは厚く御礼申し上げます。

私は、本年度3年目の勤務となり、改めて西高の良さや特徴を見直しているところです。さて、本年4月には、本館の新築工事が無事完了し、2・3年生は気持ちの良い環境で勉学に励んでいます。ところで、下の写真のように完成したばかりのピカピカの本館と、70周年記念で建てられ、30年を経過した同窓会館とは隣接しているた



完成した本館(左)と同窓会館(右)

め、どうしても目に付きます。皆さんのお力を借り、100周年記念事業の一つとして、同窓会館の外壁だけでも改装したいと思っております。御協力をよろしくお願いたします。

また、本校の体育館横にあった第二教棟は現在は新居浜特別支援学校川西分校(肢体不自由児)として、改築・開校され、本年度は

生徒数36名の学校として運営されています。昔の西高とは異なり、タイプの異なる2つの学校が同じ敷地内で共存・共生していることについても改めてよく御理解していただけたらと思います。

ところで、本校の生徒数は、今年度は、全日制802名、定時制76名の計878名です。全日制は、各学年ともすべて普通科7クラスとなり、体育祭も一昨年から3つのグループで行っています。これより先、本校の定員だけは減らさないように、近隣の中学校へしっかりと働き掛けていきたいと考えています。また、定時制については、東予地域の中心校として、また、単位制高校として、県下でますます存在感を増しているところです。さて、昨年度の進路状況は、国立立大学合格者数が164名、現役生のみで150名であり、過去

6年間の中では現役合格者数は最高の値でした。また、東京大1名、大阪大3名、九州大4名、神戸大6名など難関大学への合格者数も増加し、十分な成果を上げられたのではないかと思います。また、地元の愛媛大へも、医学部医学科の4名を始め、計39名が合格しました。重点努力目標にも掲げている「魅力ある進学校を目指して」という大きな目標に向ってさらなる発展を続けていきたいと考えています。

また、部活動については、今年4月の東予地区大会を勝ち抜いて、県大会へ参加する生徒数は、190名となりました。昨年度と比べて人数については少し減りましたが、マニフェストに掲げた数値目標を十分に達成することができました。この後の県総体でも本校らしい戦いをし、四国大会、

全国大会(インターハイ)へ出場者が数多く出ることを期待したいと思えます。

また、5月7日(土)に行われたPTA総会では、本校の運動場が保護者の車でいっぱいになるほどの多くの参加がありました。各家の熱い意欲的な気持ちや十分に伝わってくるとともに、総会では、熱心な討議が行われたことをここに報告いたします。

最後に、前述のとおり、本校は本年度開校99年目を迎えています。来年度の11月には、100周年記念行事を行うことも決まっております。今後とも、畑田会長をはじめ、樟樹会の皆様方による母校のためのなお一層の厚い御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶といたします。

▼教職員の異動

《転入》

事務長 松木 和行 (三島)
 地公 菊池 直文 (新特)
 数学 内田 宗志 (西農・再任用)
 数学 松本 慎 (川江)
 数学 佐々木 豊 (新採)
 数学 天羽 平 (新特)
 理科 吉田 弘 (新東・再任用)
 保体 飛鷹 靖 (川江)
 英語 村上 紘教 (三崎)
 事務 片岡 徹 (新採)

《転出》

事務長 黒河 理 (退職)
 地公 平田 剛啓 (東予)
 数学 青野 洋介 (今東中等)
 数学 青野 善和 (宇南中等)
 理科 前川 晃久 (新工)
 理科 安藤 華 (松南)
 保体 工藤 清 (退職)
 英語 坂上 祐亮 (東温)
 事務 藤原 由和 (新特)

▼同窓の教職員

(氏名) (卒業年) (教科等)

津村 和芳 (再任用) 昭和46 国語
 (再任用) 昭和46 国語
 塩崎 勇人 (再任用) 昭和46 地公
 内田 宗志 (再任用) 昭和48 数学
 佐々木 靖夫 (再任用) 昭和50 校長
 大西 俊一 昭和53 教頭
 亀尾 千春 昭和53 事務
 渡辺 一生 昭和56 数学
 吉田 明正 昭和56 理科
 武智 優子 昭和56 英語
 鈴木 一宏 昭和58 保体
 日野 右子 昭和59 英語
 塩崎 美都 昭和63 国語
 藤澤 真美 昭和63 英語
 東 恵理子 平成5 英語
 片岡 大介 平成9 地公
 小池 佳子 平成9 英語
 倉光 久美子 平成11 理科
 吉村 新平 平成15 数学
 加藤 恵理 平成15 事務

▼大学合格一覧

最近3カ年の総合格者と、
大学別合格者の一部を紹介

	26年	27年	28年
国公立大	169	171	164
私立大	435	399	465

北海道大	0	2	0
東北大	3	0	0
東京大	1	0	1
名古屋大	0	1	0
京都大	2	1	0
大阪大	3	1	3
神戸大	6	3	6
岡山大	18	19	17
広島大	8	8	8
愛媛大	39	31	39
九州大	5	2	4

▼年間行事予定

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	月																																	
17	1	24	14	10	20	1	18	12	4	3	27	7	4	26	20	29	15	3	17	7	8	日																							
3学期終業式		全日制卒業式・定時制卒業式		学年末考査(〓3月3日)		大学入試センター試験(〓15日)		3学期始業式		2学期終業式		2学期期末考査(〓7日)		県高校総合文化祭(〓20日松山市周辺)		定時制運動会		1・3年生2学期中間考査(〓7日)		2年生修学旅行(〓7日)		2年生2学期中間考査(〓30日)		運動会		定時制・通信制県総合体育大会		2学期始業式		1学期終業式		1学期期末考査(〓7月5日)		西高祭		県高校総合体育大会(〓6日松山市周辺)		1学期中間考査(〓20日)		PTA総会		全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式		行事	





6月19日 四国高校総合体育大会

少林寺拳法 女子自由単独演武

田中 沙耶加 さん 優勝

インターハイへ

平成28年度愛媛県高等学校総合体育大会 結果一覧

6月3日から6月6日（水泳は6月18日・19日）にかけて、愛媛県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも**190**名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は下記の通り。

●陸上競技部

男子

- 100m 岡田 陸
- 800m 伊東翔吾
- 5000mW 曾我部拓斗
- 三段跳 齋賀忠也
- 4×100mR 清村・齋賀・鎌森・青木

女子

- 100m 永江祥子
- 200m 永江祥子
- 400m 佐伯春香
- 3000m 藤田実奈
- 400mH 大判真穂 7位
- やり投 伊藤滯奈 6位
- 四国総体出場
- 4×100mR 伊藤・佐伯・川路・永江
- 4×400mR 川路・佐伯・大判・永江 8位

●水泳部

- 200m自由形 飯尾悠貴斗
- 200m個人メドレー 八塚祐希

●バスケットボール部女子

- 1回戦 新居浜西 32-122 聖カタリナ

●バレーボール部男子

- 1回戦 新居浜西 0-2 川之石

●バレーボール部女子

- 1回戦 新居浜西 0-2 野村

●バドミントン部

- 男子団体 1回戦 新居浜西 2-3 松山北
- 男子個人
- シングルス 久保舜史 2回戦
- ダブルス 久保舜史・村上 諒 1回戦

女子団体

- 2回戦 新居浜西 3-0 野村
- 準々決勝 新居浜西 2-3 東温 (ベスト8)

女子個人

- シングルス 今西清か 1回戦
- 友近ひいろ 1回戦
- ダブルス 今西清か・友近ひいろ ベスト8
- 飯尾亜美・今西涼か 1回戦

●卓球部男子

- 団体 1回戦 新居浜西 0-3 新田
- 個人
- ダブルス 高橋諒多・小野竣也 1回戦
- シングルス 高橋諒多 2回戦

●卓球部女子

- 団体 1回戦 新居浜西 2-3 今治西
- 個人
- シングルス 藤原沙衣 1回戦

●ソフトテニス部男子

- 団体 1回戦 新居浜西 0-3 川之石
- 個人 田中隆杜・渡部史寛 1回戦
- 福田航大・高橋大輔 2回戦

●ソフトテニス部女子

- 団体 1回戦 新居浜西 1-2 伊予農業
- 個人 青野初希・水野由依子 1回戦
- 玉井日向子・寺西遙香 1回戦

●ハンドボール部

- 1回戦 新居浜西 17-25 宇和島南

●サッカー部

- 1回戦 新居浜西 2-0 松山商業
- 2回戦 新居浜西 0-4 新田

●剣道部

- 男子個人 大原拓真 1回戦

男子団体

- 1回戦 新居浜西 2-0 吉田
- 2回戦 新居浜西 0-3 帝京第五
- 女子個人 三好瑞希 1回戦
- 宮本麻衣 1回戦

女子団体

- 1回戦 新居浜西 4-0 愛大附属
- 2回戦 新居浜西 2-0 松山南
- 準々決勝 新居浜西 0-1 済美 (ベスト8)

●弓道部

- 女子団体 予選
- 女子個人 浅井唯奈 矢野日向

●ダンス部

- 『アール ～死後の楽園～』 10位

●テニス部

- 男子団体
- 1回戦 新居浜西 2-0 新田青雲
- 2回戦 新居浜西 0-2 松山中央
- 男子ダブルス 山地莞梧・堤 悠真 1回戦
- 男子シングルス 三好哲平 1回戦
- 山地莞梧 1回戦
- 女子団体
- 1回戦 新居浜西 1-2 東温
- 女子ダブルス 金子あゆ・高橋美聡 1回戦
- 女子シングルス 金子あゆ 1回戦

●少林寺拳法

- 女子自由単独演武 田中沙耶加 優勝
- 全国大会・四国総体出場

文化部 大会結果

●放送部

- 第55回愛媛県高等学校放送コンテスト 総合優勝
- (第63回NHK杯全国高校放送コンテスト愛媛県予選)
- アナウンス部門 後藤佳伶 最優秀 全国大会出場
- 森川奈央 優秀 全国大会出場
- 朗読部門 苅田裕介, 竹野帆香 優秀 全国大会出場
- ラジオドキュメント部門「スマホ封じ」 最優秀 全国大会出場
- 監督 後藤佳伶, 竹野帆香
- テレビドキュメント部門「島からのバトン」 優秀 全国大会出場
- 監督 沼田 遥
- 創作テレビドラマ部門「恋愛マニュアル」 最優秀 全国大会出場
- 監督 石井優里

●囲碁部

- 第40回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 愛媛県大会
- 男子個人選抜戦 近藤永遠 4位
- 女子個人選抜戦 青山 楓 3位 佐々木華琳 4位
- 交流戦全勝賞 真鍋貴大
- 第40回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会
- 男子個人選抜戦 山田英樹 8位 真鍋真大 9位
- 近藤永遠 10位
- 女子個人選抜戦 木村梨乃 3位 青山 楓 4位
- 伊藤綾香 5位 佐々木華琳 7位
- 男子団体 (近藤永遠・真鍋真大・山田英樹)
- 第1試合 新居浜西 2-1 済美平成
- 第2試合 新居浜西 3-0 松山東
- 第3試合 新居浜西 1-2 松山中央 2位

女子団体

- A(青山 楓・川井葉月・伊藤綾香) 優勝 全国大会出場
- B(佐々木華琳・川井葉月・近藤飛鳥) 2位
- 決勝 新居浜西A 3-0 新居浜西B

●将棋部

第40回全国高等学校総合文化祭 将棋部門 愛媛県大会

男子団体

- 主将 藤田悠佑, 副将 高橋宏輔, 三将 中井瑞季 2位
- 2回戦 新居浜西 2-1 西条
- 準決勝 新居浜西 2-1 済美
- 決勝 新居浜西 1-2 松山東

女子団体

- A:主将 青山 楓, 副将 川井葉月, 三将 豊田 光 優勝
- B:主将 伊藤綾香, 副将 加藤志歩, 三将 河野有里子 3位
- 準決勝 新居浜西A 3-0 今治西
- 新居浜西B 1-2 済美
- 3位決定戦 新居浜西B 2-1 今治西
- 決勝 新居浜西A 3-0 済美
- 全国高校総合文化祭広島大会出場 (8月2日・3日)

女子個人 伊藤綾香 4位

●合唱部

- えひめハイスクールクワイヤー (合同合唱)として
- 全国高校総合文化祭広島大会出場 (8月3日)

新居浜の 動き



2017 愛顔つなぐえひめ国体 新居浜市開催競技を みんなで応援に行こう！

ウエイトリフティング
(全種別)
10.5(木)～9(月)
新居浜市市民文化センター

セーリング (全種別)
10.1(日)～4(水)
新居浜マリーナ
(マリンパーク新居浜)

サッカー (少年男子)
10.1(日)～4(水)
新居浜市営サッカー場
(グリーンフィールド新居浜)

軟式野球 (成年男子)
10.6(金)～7(土)
新居浜市営野球場

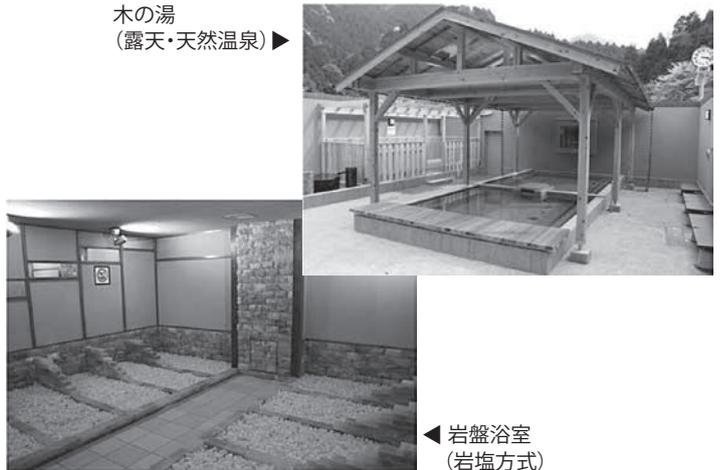
マイントピア別子に「新居浜市観光交流施設」がオープンしました

マイントピア別子4階の「ヘルシーランド別子」は平成3年のオープン以来、市民福祉の拠点としてだけでなく、観光振興の拠点として親しまれてきました。昨年からの改修により、より親しみのある施設として温浴施設と子ども用遊戯施設が4月15日にリニューアルオープンしました。

この施設は、これまでの福祉・観光の拠点としてのみならず、遊学機能の強化、三世交代の場の提供により、これまで以上にファミリー層に喜んでいただける施設となりました。

この観光交流施設は、オープンに先立ち、愛称を募集し、温浴施設については「別子温泉(天空の湯)」、子ども用遊戯施設については、「あかがねキッズパーク」と決定しました。

木の湯
(露天・天然温泉)▶



◀ 岩盤浴室
(岩塩方式)

別子温泉(天空の湯)の特徴

屋内には主浴槽、ジェットバス、リラクゼーションバス、子ども風呂と遠赤外線サウナ室、露天は自然をより観賞できるように、酸素泉と炭酸泉の浴槽が設置されています。

さらには、ロウリュウと岩塩の二種類の岩盤浴(天空の湯とは別に、利用料金が必要です)が配置され、老若男女が利用できるようにになっています。

あかがねキッズパークの特徴

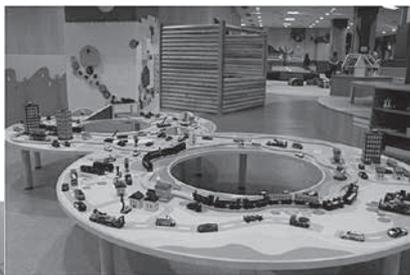
エリアごとに、子どもの年齢に応じた遊び場を配置しています。

ベビーエリアには乳児のための遊具やボールプールのモール、おむつかえ室、授乳室などが設置されています。交流あそびエリア・ロールプレイエリア

には、低年齢児のための絵本ライブラリー、ボールプールなどを、アクティブエリアには高年齢児のためのエアトラック、クライミングウォールなどを備えています。

この他、今回の改修工事で、端出場記念館4階から芝生広場への通路が新たに設置されています。外部からも直接アクセスでき、また、バリアフリー対応の屋外スロープの設置により、今まで以上に楽に施設内を周遊できるようになりました。

また、芝生広場には、フィットネスゾーンと遊具ゾーンが設置され、子どもたちの遊び場として、大人には、ウォーキングや軽い運動ができる場所になっています。今まで以上に、楽しいことがいっぱいになったマイントピアへ、足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲ ロールプレイエリア
(ジオラマテーブル)

詳しくはウェブで!

マイントピア別子

検索

▼ アクティブエリア
(クライミングウォール)



別子中学校が 生まれ変わりました

生まれ変わりました

過疎化が進展し、学校存続が危ぶまれる別子山地区において、市立別子中学校で、4月から英語や理数教科に重点を置いた、少人数教育で独自のカリキュラムによる「グローバル・ジュニア・ハイスクール」の学校運営が始まりました。

平成28年度の入学者選考には市内から28人の応募があり、選ばれた5人の生徒と地元の生徒の計6名が新しい中学校に入学しました。寄宿舎が完成する平成30年からは1学年10人となる見込みです。

学力を重視した特色ある教育課程として、今年度は、現行の年間授業時数に加え、放課後学習を年間10.5時間上乗せし、平成29年度以降は、英語や数学などを週1〜2時間増やすとともに、タブレット端末など最先端の情報通信機器の活用や別子山の自然を活かした体験教育等にも取り組み、県内一の学力と世界的な視野をもった次代を担うリーダー育成を目指していきます。

また、平成29年度までの2年間は、市内在住者をスクールバスでの通学となりますが、将来的には、広く市外からも生徒を募集の予定で、新居浜市を第2の故郷として日本中にネットワークが広がることは、別子山地域や新居浜市の未来に大きな意義を見出せます。

別子山の雄大な自然の中で、夢に向かって自己を見つめ、感性を磨いて欲しいと思います。高い志をもった子どもから選ばれた新しい学校のかたち(スクールモデル)の今後が楽しみです。



本部だより

“12度目の会員名簿発行”

紆余曲折ありましたが、樟樹会会員名簿が7月下旬発行となり、購入予約された会員の下に届けられます。

『新居浜西高等学校創立100周年記念号』という特別な事情からか、前回より多くの購入希望がありました。老若男女から「発行はいつ頃ですか?」との問い合わせが多々あり、会員名簿への関心の高さが伺えました。

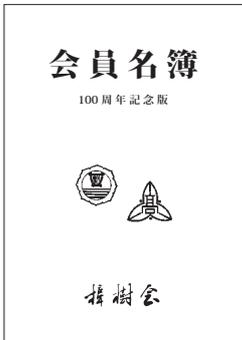
『個人情報保護法』が広く一般に浸透し、名簿発行に向けて否定的なご意見もありましたが、それ以上に必要性が高まってきた証しではないかと思えます。

1954年2月25日、初版となる『同窓会名簿』が、愛媛県立新居浜西高等学校同窓会により編集・発行されました。今とは違い質素な装丁で、A5サイズ105ページの薄い冊子です。にもかかわらず、編集後記の文面からは、編集に関わった方々の熱い情熱が伝わり、重みのあるものとなっています。

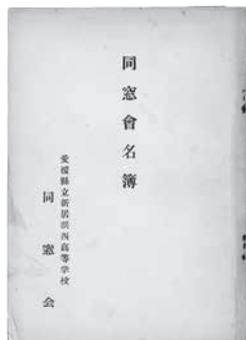
1996年7月30日、創立80周年記念号から、発行人が同窓会から樟樹会と変わり、今号で通算12版目、会員名簿は同窓会には、かけがえない財産となりました。

“三十六年の伝統と五千人近い同窓生をもつ此の古びた校舎の会議室に集うこと十数回、この方面にはずぶの素人ばかりで中々はかどらず。(中略)今回は、単に発行するということのみ重点を置いた為に、内容は甚だ不完全となったが、この点をご容赦を願い、今後は諸兄弟のご協力を得て、一層完璧を期したいと思っている。(後略)”…初版会員名簿巻末の編集後記より

このメッセージを重く受け止め、より完璧なものを目指して行きたいと思えます。



2016年発行 同窓会名簿表紙



1954年発行『同窓会名簿』表紙

平成28年度 事業計画

月日	会合名	事業内容
3月25日	樟樹編集委員会	「樟樹」27号 印刷所承認・概要相談
4月14日	会計監査	平成27年度 会計帳簿類
4月18日	樟樹編集委員会	「樟樹」27号 原稿依頼先および担当者決定
5月7日	第1回常任理事会	平成27年度 事業報告 平成27年度 会計決算報告 平成27年度 会計監査報告 平成28年度 役員改選 平成28年度 事業計画案審議 平成28年度 予算案審議 平成28年度 総会・懇親会開催準備について 西高創立100周年記念事業期成会について その他
5月9日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月16日	第1回理事会	第1回常任理事会と同内容
5月23日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月30日	第2回常任理事会	平成28年度 総会・懇親会開催準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 西高創立100周年記念事業期成会について その他
5月30日	樟樹編集委員会	校正
6月5日	東日本樟樹会総会	畑田会長・佐々木学校長・大西教頭出席
6月7日	樟樹編集委員会	最終校正
6月15日	西高祭支援	チャリティーバザー模擬店出店 西高どら焼き等販売
6月20日	第2回理事会	第2回常任理事会と同内容
6月25日	近畿くすのき会総会	畑田会長・佐々木学校長・大西教頭出席
7月15日		「樟樹」27号 発行
8月6日	総会・懇親会	平成27年度 事業報告 平成27年度 会計決算報告 平成27年度 会計監査報告 平成28年度 役員改選 平成28年度 事業計画案審議 平成28年度 予算案審議 西高創立100周年記念事業期成会について その他
1月下旬	第3回常任理事会	平成28年度の反省及び平成29年度の予定 同窓会入会記念品及び同窓会賞について 西高創立100周年記念事業期成会について その他
2月上旬	第3回理事会	第3回常任理事会と同内容
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月上旬	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制定時制 若干名) 50年前(昭和42年)の卒業会員を招待
備考	『松山樟樹会』	来年7月頃 総会開催予定

平成27年度 樟樹会一般会計収支決算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

	項目	27年度予算額	27年度決算額	備考
収入の部	前年度繰越金	1,383,764	1,383,764	
	入会金(全日制)	2,643,300	2,587,200	784人(延べ人数)
	入会金(定時制)	198,000	198,000	20人
	雑収入	10,000	4,339	預金利息・貯金利子・会員名簿販売
	運営会費	1,300,000	1,259,000	運営会費 212件 1口 3,000円から 賛助会費 47件 1口 10,000円から
	収入合計	5,535,064	5,432,303	
支出の部	会合費	400,000	419,870	理事会・総会補助
	慶弔費	50,000	0	饗別・香典
	人件費	1,440,000	1,440,000	賃金
	事務費	50,000	42,804	
	同窓会賞	15,000	15,000	全日制 2名 定時制 1名
	入会祝	318,600	293,112	全日制 275名 定時制 20名
	支部への補助金	60,000	70,000	各支部総会 お祝い金
	旅費	65,000	65,000	各支部総会出席
	生徒への補助金	500,000	240,000	全国大会補助
	その他の事業費	100,000	111,830	高校野球広告料 50年目の卒業式経費
	通信費	200,000	175,509	電話代 切手・葉書代
雑費・予備費	200,000	279,520	運営会費徴収に関する費用他	
次年度繰越金	2,136,464	2,279,658		
	支出合計	5,535,064	5,432,303	

平成28年度

総会および懇親会のご案内

日時 平成28年8月6日(土)

総会および懇親会

受付 17:00～

時間 18:00～21:00

場所 ユアーズ

新居浜市泉宮町5-8 TEL 0897-33-3535

チケット 3,000円(一般会員)

1,500円(平成21年以降卒業会員)

当日も受け付けます。

ご要望に応じて、同期生・部活等の

テーブルをご用意します。



母校で先生と呼ばれて

坂上 仁 (昭和50年卒業)

同窓会会報『樟樹』の原稿を書くにあたり、還暦について考えてみたがまだまだ年寄りと呼ばれるほどではない。同期会の仲間を見ても、皆若く、特に女性はますます華やかだ。私が高校生の頃は、還暦は老人の仲間入りの年齢であった。住友各社も定年年齢は55歳であったと記憶している。西高1年生の頃、体育の藤田早雄先生のことを先輩方は『はーじい』と親しみを込めて呼んでいた。もちろん、面と向かって言った訳ではない。藤田先生はその頃、確か50台前半であった。そう思うと今の60歳は昔に比べて若い。思い出したが、相原美代子先生は退職するまで『バラ姉』だった。

私は、高校1年生の秋に「よし、教師になって母校で野球を教えよう。」と決心した。母校のためにということ、自分の将来を簡単に決定してよかったのかと感ずるが…。

その後も、決心は揺るがず、昭和60年に晴れて母校に赴任し、野球部の監督を仰せつかった。4月当初、以後の指導方針を決定する忘れられないことがあった。練習試合の帰りの汽車の中でキャプテンに聞いた。「練習終了、何時に終われば、現役で志望校いけるんぞ？」彼は、

一瞬考えて「7時に校門を出させてください。絶対受かります。」ときっぱり言い切った。「よし分かった。」優柔不断の新米監督は、この約束だけは13年間守った。(私は、幸せ者で、高校1年生の頃の夢を実現し、そのうえ、13年間母校でお世話になった。)ちなみに彼は、京都大学へ進学した。その後も、部員は理想を高く持ち、文武両道を実践し、東大を始め各人志望校へ進学していった。野球の成績も夏1回・秋1回ベスト4進出、夏の大会8年連続ベスト16以上と結果を残してくれた。

ある日、若手の野球部OBが「マスターズ甲子園に出場したいのですが、協力してくれませんか。」と相談してきた。これが、マスターズ甲子園出場の第一歩である。早速、先輩方に若手の思いを伝え、西高野球部OB会の再スタートが切られた。今では、毎年12月30日、大学生から大先輩まで50名を超えるOBが集う、懇親会が開かれている。

ここまで、野球のことばかり書いてきたが、西高在任中、70周年記念事業に参加できたことも、私の誇りである。もう30年も前の話だが、記念会館を見るたびに、あの頃の若さと情熱を思い出す。こ

のように、西高での想い出は、還暦で生まれ変わっても忘れられないことばかりだ。今後は、西高野球部の勝利を密かに願いつつ、最後の夏の大会へ向けて全力投球を行ってから退職を迎えたい。(現在、土居高校野球部監督です。)

50年卒業同期会は、1993年以来、ほぼ5年ごとに開いている。関東在住の集まりもある。ここで、お知らせいたします。来年、2017年8月に「還暦クリアー記念同期会」を開催いたします。来年は、西高100周年でもあります。奮って参加してください。

同 期 会 案 内



昭和44年卒 第11回 同期会 開催のお知らせ

日 時 平成28年10月17日(月) 午後5時から
新居浜祭り2日目 約3時間を予定しております

場 所 リーガロイヤルホテル新居浜
新居浜市前田町6-9 電話0897-37-1121

ゴルフコンペも用意しています

前日の10月16日(日) 於：滝の宮カントリークラブ

詳細は郵便にてご案内いたします

平成20年卒 同期会 2017

- 【日 時】 2017年1月2日(月祝)
17時~20時(開場16時30分)
- 【会 場】 レーイグラッツェふじ(ふじ結婚式場)
2010年成人式後同期会会場と同じです
〒792-0031 新居浜市高木町3-2 0897-34-2211
- 【お世話役】
神野 翔 電話：+852-6733-8114 (香港)
田窪 祐二郎 電話：090-1176-0697 (新居浜)



東日本樟樹会

第8回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第8回総会と懇親会は、6月5日(日)千代田区市ヶ谷の「アルカディア私学会館」で開催されました。出席者は来賓及びゲストスピーカーを含めて、今回は総勢70名を数えることができました。昭和27年卒業の方から、平成20年卒業の方まで幅広い年代の同窓生が出席し、夫婦での参加が2組、親子2代の参加も2組ありました。

総会では井上会長の開会挨拶の後、来賓の佐々木校長から母校の現況および新校舎の紹介があり、畑田樟樹会会長からは樟樹会の今後の活動、特に母校創立百周年に向けての報告がありました。続いて昨年度の収支報告及び役員改選があり、全会一致で承認されました。ゲストスピーカーの福田栄一氏(新居浜西高平成8年卒)からは「小説を書く日々」をテーマに、日頃耳にできない作家の臨場感ある日常と、作家になるまでのヒストリーを軽妙にご紹介いただきました。懇親会では新居浜市および母校に関するクイズ大会が催され、懐かしい賞品(連絡船記念うどん、パン豆、万長ラーメンなど)もあり、ふるさとの言葉が飛び交う中、頭をひねりながら楽しい時間を過ごしました。

次回は来年6月4日(日)に同じ会場で第9回総会、懇親会を開催する予定です。



近畿くすのき会

第20回近畿くすのき会総会

「100周年に100人の参加者」を目標に集客に邁進しています。おかげをもちまして70人を超える賑やかな会となりました。会場は「丸ビル」の愛称で親しまれている大阪第一ホテル。

第一部総会は、村上会長挨拶に続き、来賓の畑田樟樹会会長、佐々木新居浜西高校長に祝辞をいただき母校の近況を知ることができました。また、議案は原案通り承認されました。



第二部は近畿くすのき会の目玉「講演会」。今回は京セラ株式会社法務的財産本部長・執行役員上席の神野純一さん(昭和49年卒)、演題は「通信機器事業立ち上げを通じて思う事」。携帯電話事業の営業、とくに中国での苦労話は成功への力ぎとなる手に汗握る冒険談でした。http://kinki-kusunokikai.org/「行事報告」に講演録を掲載していますので、ご覧下さい。懇親会は、日本盛株式会社常務取締役の曾我浩さん(昭和52年卒)提供の日本酒と宮本潤子さんの絶妙な司会で盛り上がりました。

松山樟樹会

第10回松山樟樹会総会・懇親会

「松山樟樹会」総会が平成27年11月7日、松山市の松山東京第一ホテルで開かれました。3年に一度の開催で、幹事の皆さんの呼びかけ成果もあり若い年代が参加、大幅増の80名となりました。

総会では、来賓の畑田雅敏会長、佐々木靖夫校長が、29年度に創立100周年を迎え記念版名簿を発行すること、28年4月完成を目前に進めている本館耐震建て替え工事の進捗状況が報告されました。

役員改選では、光永真弓会長の後任に、加藤弘正新会長を選任。全員で記念撮影をして、太鼓台DVD上映のオープニングで懇親会。恩師の崎野次雄先生、高山利典先生、城戸義文先生を紹介、ビンゴ、じゃんけんゲームなどを楽しみました。

総会前の記念講演会では、49年卒のOBで松山東高校校長の藤田繁治氏が登壇され、同年春の甲子園出場での大応援や、スポーツと学問をテーマとした韓国KSBテレビの取材など、プロジェクターを使って楽しく紹介されました。



同期会陣

還暦てんやわんやの同期会

横川 京子(昭和49年卒)

平成27年8月15日、村上孝一先生、後藤勝正先生、鴻上政明先生をお迎えしてリーガロイヤルホテル新居浜にて昭和49年卒同期会が開催されました。平成4年から始まった同期会も8回目になります。今回は卒業して42年！還暦です。これを機に同期会デビューした新しい顔ぶれもあり、思い出に残るひと時を過ごしました。弾む話は年金と介護、体調管理とちよつと現実味のあるこれからの老後の内容ではありますが、呼ぶあだ名は懐かしく、気持ちは高校生のまま。クラスごとの近況報告に歓声やヤジなど笑いが絶えません。それでもまじめな西高卒業生。今後の同期会運営については段取りよくアンケートを実施して、次回は5年後に開催することが決定しました。その時の誰かの一言、「それまで元気で、必ず集まろうぜ」実感のこもった締めでした。とは言え、二次会も一次会と同じくらいの人数で盛り上がり、別れを惜しむ一夜を過ごしました。



昭和57年卒業生 大同級会を開催しました

高橋 義樹(昭和57年卒)

平成28年1月2日、リーガロイヤルホテル新居浜に私たち昭和57年普通科卒業生が、卒業後初めて一堂に会しました。開催のきっかけは、来年の創立100周年を意識したのではなく、これまで30年余、クラス会さえ開かれていない中、同級生数名の集まりで誰知らず、たまには同期全員で集まってみようと言いつつ出たことが始まりでした。それに賛同した仲間が実行部隊となり、夏頃からクラス幹事を決め、開催の準備を進めてきました。ただ、新居浜在住の人はもちろん、市外、県外、国外にいる仲間も多数で、果たしてどのくらいの参加があるのか、甚だ不安でした。しかし、蓋をあけてみれば、105名もの予想を超える多くの出席があり、恩師である続木先生、岡田先生を始め、8名の先生方のご参加をいただき、大盛況となりました。当時の運動会のビデオ

や文化祭の写真などがスクリーン上映される中、気分は高校時代にすっかり戻り、二次会、予想外の三次会と、思い出話は尽きることなく、30年分の旧交を一気に温めることができました。まさに感無量の一日でした。次の開催は未定ですが、再会の時まで、同級生のみんながそれぞれの地において、健康でさらなるご活躍を願って、エールを送りたいと思います。



昭和58年卒業生同期会 突然の呼びかけに 集まりました!

鴻上 照美(昭和58年卒)

昨年、8月14日(金曜日)、村上先生の御出席を賜り、同期生約100名が、日本各地からリーガロイヤルホテル新居浜に集いました。

この同期会のきっかけは、私の電話から始まったのです。これまで、女子会や小さな同期会はあちらこちらで開かれておりました。そんな中で正月の集まりでみんなに会いたいという声が上がリ、酔った勢いで役割を決めました。私は場所取りだと記憶しており、独断でリーガに電話したのです。問題は人数です。何の根拠もなかったのですが、100人とはじき出しました。いい加減といましようか、この位は集まってほしいという願いも込めて決定したように思います。その後は毎月毎月、計画委員会と称して始めの10分間は打ち合わせ、後は飲んで飲んで飲みニケーションを図りま

した。それがよかったのか、参加者が続々と増えなんと当日の参加者は、100名となりました。

当日は、30年前の運動会の様子が映し出されたり、クラスごとの紹介があったりと、今昔物語にみな大盛り上がりでした。二次会にも80名(ほとんど強制でした)もの参加があり、その夜は、昭和58年、一色となりました。

本当に突然の同期会開催の呼びかけに快く参加してくださいありがとうございました。幹事一同感謝しております。次回は東京オリンピックの開催年2020年1月3日(金曜日)です。参加人数は150人と予定しております。(また勝手に決めてすみません。)是非、ご参加ください。同期会最高!



編集後記

新居浜の南を通る中央構造線の延長線上で、大変なことになっている熊本・大分、他人事とは思えません。また、その中間にある伊方原発のこと。またまた、いつ起こるか分からない南海トラフ巨大地震。心配事が広がります。

校門を入ると、玄関前の植え込みは前のままなのに、他の学校へ来たような感じになります。私だけでしょうか、慣れるまでなのでしょう。

100周年もいよいよ1年後に迫り、本号にも100の文字が各所に踊っています。樟樹会会長(二期成会会長)を中心にこれから本格的にスタートです。(ひろ)

発行所

樟樹会

〒792-0024

新居浜市宮西町4-46

TEL 0897-13214331

FAX 0897-13214331

発行者

畑田 雅敏

印刷所

株式会社サラト

発行日

平成28年7月15日

委員長 近藤 博司(昭44普)
委員 世良 賢克(昭26普)
武田 信之(昭28普)
近藤 司(昭42普)
畑田 雅敏(昭44普)
伏見 紀子(昭44普)
石川美千子(昭47普)
鴉 裕子(昭49普)
安藤 寛和(昭58普)

織田 文生(昭60普)
藤澤 真美(昭63普)
越智 孝司(平2普)
片岡 大介(平9普)
日野 愛子(平12普)
吉村 新平(平15普)
鈴木 雅大(平16普)

表紙撮影：大久保直幸氏(昭和44年卒) 大久保フォトス

